

揺れやすさマップ

揺れやすさマップとは

地形や地盤の状況をモデル化し、想定される震源との位置関係とあわせて地点ごとの震度を計算した結果を表示したものです。計算は、平成27年9月に約50m四方の「メッシュ」単位で行っています。ご自宅の周辺や普段よく行くところ、よく通るところなどについて、想定されている揺れの大きさを確認してください。また、地震に備えて、自宅の家財などの転倒対策を行ったり、災害時の避難場所や地震が発生した時の対応などを家族や周囲の方と相談してください。

ここで表示した震度は、地震の規模や震度からの距離により想定される平均的な揺れの強さであり、地震の発生仕方によっては、揺れの大きさは表示された震度よりも大きくなったり、小さくなったりすることがあります。

想定した地震は、プレート境界およびその上面で発生する「茨城県南部地震」です。つくばみらい市が位置する関東地方では、北米プレート、フィリピン海プレート、太平洋プレートが互いに接し、複雑な力が集中する場所であることから、蓄積されたエネルギーにより近い将来、マグニチュード6~7クラスの大規模な地震が発生する可能性があると考えられています。

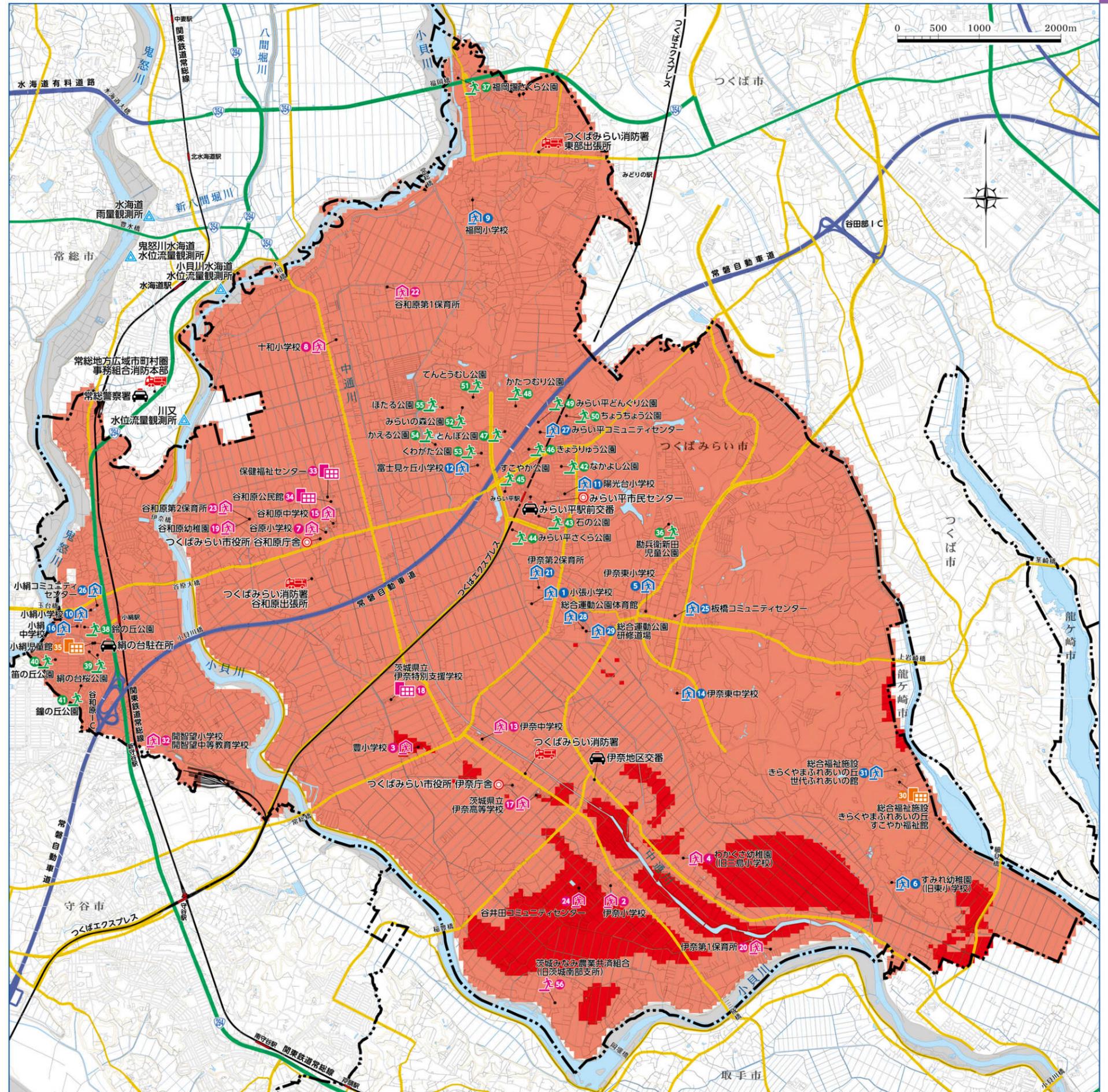
震度階級 (計測震度)	強 ← 震度6強 (6.0以上6.5未満) → 弱 (6.3) (6.2) (6.1) (6.0)
屋内の状況	固定していない家具のほとんどが移動し、倒れるものが多くなる。
屋外の状況	壁のタイルや窓ガラスが破損、落下する建物が多くなる。補強されていないブロック塀のほとんどが崩れる。
木造建物 (住宅)	耐震性が高い：壁などにひび割れ・亀裂がみられることがある。 耐震性が低い：壁などに大きなひび割れ・亀裂が入るものが多くなる。傾くものや、倒れるものが多くなる。

震度階級 (計測震度)	震度6弱 (5.5以上6.0未満) (5.9)
屋内の状況	固定していない家具の大半が移動し、倒れるものもある。ドアが開かなくなることがある。
屋外の状況	壁のタイルや窓ガラスが破損、落下することがある。
木造建物 (住宅)	耐震性が高い：壁などに軽微なひび割れ・亀裂がみられることがある。 耐震性が低い：壁などのひび割れ・亀裂が多くなる。壁などに大きなひび割れ・亀裂が入ることがある。瓦が落下したり、建物が傾いたりすることがある。倒れるものもある。

(出典) 気象庁震度階級関連解説表

凡例

- 福祉避難所
- 指定避難所
- 指定緊急避難場所
- 市役所
- 消防署・出張所
- 警察署・交番・駐在所
- 雨量、水位流量観測所
- 洪水時は使用不可の福祉避難所
- 洪水時は使用不可の指定避難所
- 洪水時は使用不可の指定緊急避難場所
- 高速・有料道路
- 国道
- 県道



地域防災ネットワーク

防災・避難の備え

風水害・土砂・竜巻の備え

防災マップ

地震の備え

地域防災ネットワーク

防災・避難の備え

風水害・土砂・竜巻の備え

防災マップ

地震の備え